

マイノリティ共感

◀ メニューに戻る

マイノリティ共感とは

自身のマイノリティとしての体験から、他の部分のマイノリティに対して共感を抱き、他者のマイノリティ性に対して敏感になること。
(自身が選んで持っている特性ではないもので人から判断され嫌な思いをしたことなど)

100%マイノリティ・100%マジョリティは存在しない! (マジョリティとして特権を持っている部分もあれば、マイノリティとして生きている部分もある)



セクシュアルマイノリティ・性的マイノリティを受け入れていく過程の中で、
自身のマイノリティ性を考え、
マイノリティ共感を意識していくことで感覚的に理解しやすくなる

セクシュアルマイノリティ・性的マイノリティの方たちは、かけ離れた存在ではなくて同じような悩みや、似た感覚をもっているという実感を得ることができる



◀ 前へ

次へ ▶

セクシュアリティのことを話せる大人であるために

◀ メニューに戻る

LGBTQ+のこどもたちはカムアウトできる場所や相手であるか注意深く見ています。

具体的にはどういうところを見ているのでしょうか。

- 用語を知っているなど知識がありそう
- 「男/女だから」「〇〇すべき」という思考が強くない
- 使う言葉がジェンダーニュートラル
- 「ちょっとみんなと違う」ことをネガティブ扱わない
- マイノリティ性のある友人や隣人・同僚を受け入れている
- 周囲の人が自身のマイノリティ性に対してオープンである
- 学校や家庭・店舗などにレインボーグッズがある！



人と違うということをその人自身がネガティブに思っていないことを伝える



カムアウトしやすい環境であることをわかりやすく示すために

ジェンダーニュートラルな言葉について
次ページで見ていきましょう ▶

◀ 前へ

次へ ▶

ジェンダーニュートラルなことば

◀ メニューに戻る

彼・彼女・おにいちゃん・おねえちゃん・○○君/ちゃん（呼びかけとして）



「その黄色いシャツの人」（服装の特徴）・名前・○○さん

ママ・パパ



親御さん・名前

ご主人・お嫁さん・お婿さん・家内・旦那



パートナー・お連れ合い・相方

彼氏・彼女



交際相手・恋人・好きな人

兄・弟・姉・妹



きょうだい

マイクロアグレッション

マイクロアグレッションとは無意識の偏見や差別によって、
悪意なく誰かを傷つけること

例えば

「いい意味でソレっぽくないね」

「別にセクシュアリティがどうって大した問題じゃないよ！」

「なんでカムアウトするの？職場/学校と関係くない？」

「（男性には）彼女いる？」 「（女性には）彼氏いる？」

「（セクシュアリティを問われて）私はストレートだよ！」

◀ 前へ

次へ ▶

こういうときどんなフォローをする??

メニューに戻る

あなたの息子さん
彼女できた??

Aさん



えーと・・・

Bさん



(・・・うちの子、
ゲイなんやけどなー)

前へ

次へ

こういうときどんなフォローをする??

メニューに戻る

あなたの息子さん
彼女できた??

Aさん

えーと・・・

Bさん

(・・・うちの子、
ゲイなんやけどなー)

Cさん

こういう場面で素早く
フォローできるように
普段から言葉やセリフを
考えておくといいですね

いまどきいろんな子がいるからねー
お子さんにお任せしておくこと
なんじゃないかなあ

前へ

次へ

カミングアウト

◀ メニューに戻る

▶ カミングアウトなんのため？

- ・秘密を抱えている苦しさや孤独感を軽くしたい
- ・マジョリティのふりをしているのがしんどい
- ・自分の気持ちや考えを知って欲しい
- ・自分の気持ちや考えを理解して共感して欲しい
- ・これまでの偏見や同調圧力での傷つきを癒したい
- ・相手に「こうして欲しい・して欲しくない」ことがある
- ・サービスや援助を受けるための情報提供
- ・仲間が欲しい

カミング・アウトしないと異性愛者・シスジェンダーとして扱われてしまう… / 自分らしく生きるために必要なこと！

▶ カミングアウトされたら？

- ・カムアウトされたことは信頼の証！
- ・アウティングに注意して！
- ・無理に100%受け入れなくてもいい
- ・わからないことは本人に聞いてください
- ・どうして欲しいか/して欲しくないかは本人に聞いてください

セルフスティグマが強いほどカムアウトできない…

周囲が普段からセクシュアリティについてニュートラルな姿勢でいることが大事！まずは安心できる環境を！

◀ 前へ

次へ ▶

「あたりまえ」の恋愛・家族？

◀ メニューに戻る

- ① 親密で継続的なパートナーシップは男女で営まれる
- ② 婚姻・パートナーシップは性的関係に基づく
- ③ 家族は婚姻している男女をベースに築かれる
- ④ 法律的家族＝家族である
- ⑤ 婚姻やパートナーシップ間では子どもを持つことが前提
- ⑥ 子育ては男女一对の親で行われている
- ⑦ 親は子の遺伝的な親である
- ⑧ 誠実なパートナーシップは1×1の関係に限定される



家族や恋愛はすでにもっと多様！！

◀ 前へ

次へ ▶

相談できる場所

◀ メニューに戻る

NPO法人QWRC (2003年～)

▶ 居場所事業

交流会

▶ 相談事業

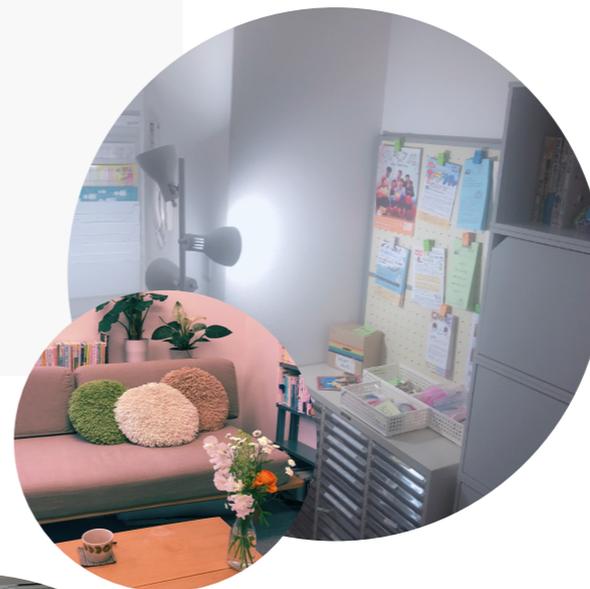
- ・LINE相談
- ・カウンセリング相談支援事業所

▶ 他の団体や自治体との連携

- ・地方公共団体のLGBT相談
- ・プライドセンター大阪

▶ 講演・研修

▶ アーカイブ事業



プライドセンター大阪

関西初のLGBTQ常設センター

▶ ハイブリッド居場所

▶ LINE相談

▶ 個別相談

▶ その他イベント

対面・オンライン



◀ 前へ

次へ ▶

おわりに

[メニューに戻る](#)

大阪市ではLGBTQ+などの性的少数者に対する理解を深め、だれもが自分らしく生きることができる社会の実現をめざしています。

LGBTQ+当事者は周囲からの偏見や差別的な扱いを受け、傷つき悩んでいます。

また、差別や偏見をおそれて、学校や職場、家族など身近な人にも相談できず悩み苦しんでいる人もいます。

私たち一人ひとりがLGBTQ+についての正しい知識と理解を深め、だれもがありのままの自分らしく暮らしやすい社会、多様な性を認め合える社会の実現に向けて取り組むことが必要になっています。

[前へ](#)

[次へ](#)

リンク集

◀ メニューに戻る

大阪市リンク先

- ▶ 大阪市の取組み 大阪市LGBT支援サイト

<https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000397620.html>

- ▶ 大阪市人権啓発・相談センター

<https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000095095.html>

コンテンツで紹介したリンク先

- ▶ NPO法人QWRC（くおーく）

<https://qwrc.jimdofree.com/>

- ▶ プライドセンター大阪

<https://pridecenter.jp/>

◀ 前へ